

# 穴水町大学連携プロジェクト事業： 「あなみずスポーツツーリズム推進事業」への参画

団体名●池田ゼミナール／代表者名●池田幸應（人間科学部スポーツ学科・教授）

## はじめに

穴水町では「あなみずスポーツツーリズム推進事業」として、大学・行政・地域が有する強みを活かしながら、スポーツを核とした相互交流の拠点づくりを進め、里山里海の魅力について情報発信し、地域の活性化及び交流人口の拡大を図り、併せて健康長寿のまちづくり事業への寄与を目的に実施されており、これまで継続的に穴水町において野外教育推進・地域貢献活動を行っている人間科学部スポーツ学科池田ゼミナールが本事業に参画している。

## 活動内容

「あなみずスポーツツーリズム推進事業」における当該ゼミナールの主な活動は、①地域環境を活かしたスポーツツーリズム推進に向けた包括連携組織の立ち上げ：「あなみず地域文化・スポーツ・健康コミッション」の組織化検討、②「SSTR(サンライズサンセットツーリングラリー)」の受け入れ：ライダーに優しいまちづくりを進めるため、ライダーと地域住民との交流の場の創設、③調査研究：幅広いスポーツ活動を促進し、町民の健康づくりを具体的に推進するための方策を調査研究、④情報発信：SNS等の手段による学生目線での町の情報発信であり、池田ゼミナール学生(3年次9名)は、まず、事前に奥能登地域「穴水町」についての過年度の実施活動の確認や関連資料、webリサーチ等の事前調査を行った。新型コロナウイルス感染の社会状況のため、その大学対応指針に従い、活動が制限される中での活動実施となった。

ゼミナール学生は、2021年5月9日に穴水町の地域環境、特にスポーツ関連施設等を視察し、関係者からのヒアリング調査(フィットネスジム「チアフル」、町陸上競技場見学、穴水町住吉公民館においてスポーツツーリズム推進事業の意見交換等)を行った。7月13日には、「SSTR2021」への穴水町の参画も視野に入れ、主催者と能登9市町の観光関連担当者が参集するSSTR意見交換会に参加した。また、11月17日、18日の2日間、スポーツツーリズム担当部局、

町営フィットネスジム「チアフル」、のとふれあい文化センター、さわやか交流館ブルート、穴水町B&G海洋センター等の現状とスポーツツーリズム推進策について現地調査を行った。この2日間の現地調査に際し、現地までの往復路については、グループ別で金沢駅からの列車(七尾線+のと鉄道)やレンタカー利用の移動手段を用い、現地までのアクセス条件や課題要因等についてもリサーチした。



写真(左)：「チアフル」関係者とのヒアリング調査風景

写真(右)：「潮騒の道」の視察ウォーキング時の学生の様子

## 成果、結果の考察

新型コロナウイルス感染状況下、学生たちは、現地活動での地域の魅力をSNS(インスタグラム)で情報配信し、「SSTR2021」での穴水町参画(10月)のサポート活動も実施した。今回、穴水町でのSSTR事業開催はウイルス感染対応のため中止となったが、羽咋市千里浜のゴール特設会場において、ゼミナール学生と町が共同作製したオリジナルステッカーと共に同町の魅力情報が配信された。学生たちは、穴水町の地域のスポーツツーリズム環境について調査し、地域の関係者との交流を通して地域課題についても理解を深めた。これらの活動も同町の包括連携組織の立ち上げにつながるものと考えられる。

## 今後の課題、展望

この事業は、次年度への継続であり「SSTR2022」において、「あなみずセカンドステージ」(2022年5月22日予定)でのゼミナール学生の運営参加予定であり、地域行事や行政施策等と連動化し、協働でのスポーツツーリズム推進への寄与が期待される。